

特定非営利活動法人  
マナー教育サポート協会 会報誌

## 第23号

# マナーは愛



### <目次>

- |                         |           |        |
|-------------------------|-----------|--------|
| ■ 少し心に留めておきたいこと         | 副理事長 香月 泰 | (P 1)  |
| ■ 丸の内 キッズジャンボリー2015     | 大徳 はるみ    | (P 3)  |
| ■ 感動リレーエッセイ②            | 南 節子      | (P 7)  |
| ■ 年賀状のお付き合いに思うこと        | 南 節子      | (P 8)  |
| ■ 花天の会 第9回「青葉の集い」       | 島崎 和子     | (P 9)  |
| ■ 認定講師の誕生               | 第11期生     | (P 10) |
| ■ 伝統的工芸品                | 業務サポート部   | (P 13) |
| ■ 当協会のFace bookを立ち上げました | 業務サポート部   | (P 15) |
| ■ 活動報告及び予定              | 事務局・各事業部長 | (P 15) |
| ■ 正会員様と賛助会員様ご紹介         | 事務局       | (P 18) |
| ■ 会員募集のご案内 運営体制 お問い合わせ  | 事務局       | (P 19) |

## 少し心に留めておきたいこと

副理事長 香月 泰

日頃何気なく使っている言葉、相手を動かす力を秘めていることもあれば、自分を励ます力を秘めていることもあります。このような言葉ですが、自分でもその意味を十分に理解しないままに使っていることもあり、後で反省することもしばしばです。

今回、紙面をいただきましたので、あまり関連性はありませんが、三つの言葉をもとに駄文を書いてみました。



### 言葉の綾

本音を見せたくないときや微妙な意味あいを持たせるときに用いたり、事のついでに一言付け足したり、言葉を飾ってうまく表現したり、いろいろな意味合いをもつ巧みな言葉の言い回しを言いますが、使い方には直接的な場合も、間接的な場合もあります。

直接的な使われ方は次のような会話に見られます。

坂東太郎「手伝ってくれて有り難う。明日も次郎がいると助かるな」

筑紫次郎「明日は駄目だよ」

吉野三郎「言葉の綾だよ。仕事は今日でほぼ終わり。明日は太郎一人で大丈夫だよ」  
間接的な使い方は次のような会話に見られます。

坂東太郎「土産はいいからさ、楽しんでこいよ」

筑紫次郎「分かった、楽しんでくるよ」

こちらの間接的に言葉の綾を發揮しています。

坂東太郎「明日の夜、空いているなら一杯どうだ？」

吉野三郎「今週は忙しいので抜け出せないんだ。悪いな」

言葉の綾とは言い得て妙で、何となく収まっているので不思議です。

### 煩悩

心身を悩ます妄念（迷いの心）や怒りや欲望や執着のことで、よく煩悩は108あり、除夜の鐘を108回撞くのは108の煩悩を滅するためと言われますが、これらの煩悩を滅することはなかなか難しいので、己の内に留め置くことが大事だと思います。煩悩を他に及ぼそうとしないことが大事だと思います。

しかし、煩悩を別の見方で捉えると、迷いの心が慎重さを生み、怒りが良き道を探るエネルギーになり、欲望が発明の母になります。このように生きる力として煩悩を受け止められれば、煩悩は有り難い存在だと思うのです。何事も表と裏があり、時には表を裏にし、裏を表にすることができれば人生に幅が生じ、一步先へと踏み出す力にもなるのではと思う次第です。

### マナーと manner & manners

日本語の“マナー”と英語の“manner & manners”の関係はどのようになっているのでしょうか。

幾つかの英和辞典に書かれている言葉を羅列してみます。

- ・manner 仕方 方法 流儀 態度 様子 物腰 しぐさ  
\*インターネットで調べると「気品」という言葉も加わります。
- ・manners 行儀 礼儀 作法 慣習  
\*エチケット、マナーを加えている例もあります。

このような言葉を眺めて見ますと、manner と manners では少し意味合いが異なることがわかります。

manner は、概念として捉えられますし、心の働きが作用しているようにも捉えられます。また、manners は形式（決め事）が基本となっていることがわかります。

一方、幾つかの国語辞典でマナーを引きますと次のように書かれています。

- ・態度 行儀作法
- ・態度 様子 (manner) 行儀作法 (manners)

また、作法を引くと次のような言葉が書かれています。

- ・立ち居振る舞いのきまり 言語動作の法式
- ・物事を行う方法 仕方

このようなことから考えると、日本では、マナーという言葉を取り入れるとき、形式だけでなく概念や心も含めて取り入れたのだと思います。

ところで、思いやりは、マナーとの関係においてどのように捉えたらいいのでしょうか。思いやりは、心の働きであり、行儀作法のような形式（決め事）ではありません。

- ・マナー＝manners であれば  
思いやりはマナーとは別の世界の概念と言えます。
- ・マナー＝manner & manners であれば  
思いやりはマナーに含まれる概念と捉えてよさそうです。

なお、思いやりは、心の自然な発露の下に存在するものであり、その人の心の優しさの表現です。接する相手を感じてくれることに価値があるのです。それ故に、これを売りにすることは謹むべきことでしょう。

ハイトスピーチに関する規制を設けるよう、「国連人種差別撤廃委員会」は日本に対して勧告しましたが、日本は「表現の自由」から難しいと見送りました。憲法第12条にありますように、憲法は権利や自由を無制限に認めておりません。それにも拘わらず見送りました。思いやりを売りにすると、見透かされてしまいそうです。

思いつくまま取り留めもなく書きましたが、言葉は面白い存在です。しかし、なかなか手強い存在でもあります。

蛇足ではありますが、日本語の名詞は語尾変化をさせる表現がなく、日本語の表現としてはマナーで統一されていると思います。

将来、マナーとマナーズが、それぞれ「異なる概念」として定義されれば、国語辞典でマナーズという表現が見られるようになるかも知れません。

これからも外来語は増えていくと思いますが、日本語の名詞は語尾変化がないので、そのことを踏まえた表現のもとに日本語として受け入れられていくことでしょう。

(元株式会社ミライト顧問)

## 丸の内キッズジャンボリー 2015 IN 東京国際フォーラム

8.12(水)・13(木)・14(金)

子どもたちの未来への夢を育む、夏休みの参加・体験型イベント「丸の内キッズジャンボリー2015」に、7回連続で出展することができました。例年、イベントの主会場となっている展示ホールの大規模改修工事のため、今年は使用ホールを限定した[セクション開催]となりましたが、約9万4千人（延べ人数）の皆様にご来場いただきました。

今年は当協会単独で出展いたしました、「みんなの力で出展する」ことを喜びに参加いたしました。今年も、株式会社峠喜重朗商店様・吉井商事様より、特別に仕立てた子どもサイズの割り箸をご提供いただきました。

また、昨年度までご支援いただいた NTT コムウェア株式会社様へは、心よりお礼申し上げます。皆様からのご支援を心より感謝いたします。

当協会のワークショップは、「お箸マスターになろう！できるってかっこいい」をテーマに、食事のマナーと正しいお箸使いを楽しく覚えていただきました。

各回の定員は24名で、1日3回を3日間行い、合計216名のキッズが来場しました。参加されたのは小学生の子どもさんたちで、保護者の方はご見学をお願いしました。

紅白の旗を使ってクイズ・お箸の使い方・ビーズひろいゲーム・ジャンボかるたにチャレンジしました。マスターした全員に修了証を差し上げ、夏休みの自由研究にもなるお土産と、やってはいけないお箸使いをイラストで表現したランチョンマットをお持ち帰りいただきました。



\*\*\*\*\*

### 副理事長・研修事業部長 岸田 輝美

朝早くから整理券を取るためにできている長い列。その横を通りながら心苦しくもなりました。でも、「お箸マスターになろう！」に来て下さった子どもたちが、ニコニコの顔でお土産を手に部屋を出る姿が9回も見られました。“しあわせ”しかありません。

この「お箸マスターになろう！」の部屋に一緒に入れたスタッフそれぞれに思いがあり、経験もできたと思います。何より、今年も運営ができたことが本当に嬉しかったです。スタッフ、そして、ご支援いただきました皆様に感謝いたします。



会場に来てくれた子どもたちに、少しでもお役に立てたら嬉しいです。そして、マナーの心が子どもたちに広がるのが楽しみです。 **今村 光子**



今回は、緊張感よりは少し責任を感じてのぞみました。2回目の参加でしたが、私も前回よりはだいぶ楽しめました。来場者は、自分が体験したい！の気持ちを持っているので講義ではなく実技体験が何よりも喜ばれると強く感じました。笑いがいっぱいでした。でも、「かるたが一番でなければ許さない」というお母様の子どもさんが目に涙を浮かべていたのが辛かったです。皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。 **高橋 清美**

はじめて参加させていただきました。私が一番嬉しかったのは 子どもの“喜んだ顔”“わかった”という満足そうな顔を見られたことです。また みんなで協力して一つの事を成し遂げる達成感を感じました！感謝しております。 **岡田 愛子**



子どもたちのエネルギーに支えられた 3 日間でした！  
**原田 なおみ**



今年もまた参加することが出来ました。来てくれた子どもたちに、「来てよかった」と少しでも思ってもらえるように頑張りました。毎年なのですが、子どもたちの中に忌み箸の名前を全部言い当ててくれる子が必ずいます。保護者の方の日頃の教育が行き届いているのだな～と感心します。まだ正しいお箸の持ち方の出来ない子も沢山いましたが、みんな一生懸命お箸と格闘してくれました。来年も、沢山の子どもたちと会うのが楽しみです。 田中 昌子



緊張した顔で席に着いた子どもたちも、あっという間にグループの仲間で話が弾みます。お箸も上手に持てるようになり、修了証を手にした子どもたちの顔はかっこよくて自信に溢れていました。思わずスタッフの顔もほころびました。 岸田 輝美



大舞台上で講師デビューをさせて頂きました。緊張しましたが、同じように緊張の面持ちで部屋に入ってくる子どもたちが笑顔で帰って行く姿に喜びを感じました。皆様のサポートに厚く感謝申し上げます。 松井 直美



今年も沢山の子どもたちに会え、人を思いやる気持ちの大切さをお箸使いやかるたと共に伝え、子どもたちの心の1ページに刻んでもらえたら嬉しいです。いつの日かふと、お箸使いやマナーかるたで遊びながら覚えた事を、思い出してくれたらいいな～。 川岸 秀子



子どもたちの一生懸命に取り組む姿が可愛らしかったです。お箸の持ち方を、もっと一人ひとりに教えてあげたかったです。 島崎 和子



みんな頑張りました！  
打ち上げも楽しかったです。  
大徳 はるみ

\*\*\*\*\*

理事長 岩下宣子

本当に素晴らしい！と今回も真から思いました。協会だけでキッズジャンボリーに参加することになった時、一抹の不安はありましたが、その不安は、よい意味で見事に裏切られました。

岸田副理事長・研修事業部長の指揮のもと皆さんが一弾となって取り込んでくれました。連携プレーは、お見事でした。準備は、川岸秀子さんと大徳はるみさんの二人が力を合わせてやってくださいました。3日間お互いに、先輩は後輩のことを尊重し、後輩は先輩の素晴らしさを賞賛して、とても良い雰囲気が進められたと思っています。

一日の終わりに、見せてくれた皆さんの笑顔は、本当にすがすがしくまぶしく感じられました。何とかして来年にもつなげたいと思います。皆さま、またご協力を宜しく願いいたします。そして、心から感謝申し上げます。

## 感動リレーエッセイ ②

認定講師 南 節子

4月3日（金）、新入生に対するマナー研修で東洋大学川越キャンパスに伺いました。

大学の新生マナー研修を受託するのは初めてであり、実施にいたる迄、岸田研修事業部長は何回も大学とやりとりをしました。大学側のご要望を伺ったり、当協会としての意向を申し上げて調整を図ったりして、ようやく実現致しました。

また、学校側からのご依頼内容も幅広いものでしたので、岸田先生と田辺先生とのすり合わせをしながら、意識合わせに時間をかけました。



- ・ マナーの役割と大切さ
- ・ 規則（ルール）とマナーの違いは？
- ・ 相手との円滑なお付き合い
- ・ アイスブレイク
- ・ 相手とのコミュニケーション
- ・ マナーについての質問

大学生生活のマナー研修の中には、授業ガイダンスに関するマナーの他に、通学・交通マナーや喫煙・飲酒のマナーまで含まれ、これらをどう網羅するかが課題となりました。アイスブレイク後に、講義を進めていく事にして、学校側のご要望を取り入れながら各自のやり方でレスンプラン作成とすることに決めました。

4月3日ということもあり、ピカピカの大学一年生は、それは素直で、楽しみながら質問には積極的に発言していました。マナーについての質問は、赤と白の旗を上げて答えていただきました。ルールとマナーの違いは、ルールを破ったら罰則がある（酒・煙草・車のシートベルト・バイクのヘルメット等）、マナーに罰則はない、相手に対する思いやりの気持ち等を話しました。アイスブレイクでは、隣の人とお互いの名前を名乗り、1分間で共通点を探し、雰囲気や和んだところで、90分の中で山場をいくつか用意しました。その中で気持ちとして残るもの、体で覚えるものに分け、相手にどう届けるか考えました。

相手とのコミュニケーションでは、伝達の言葉と心の言葉の違いが、どのように違うのかを実例を交えて説明し理解を深めてもらいました。

また、折角大学に入ったのに、コミュニケーションがとれなくて大学を辞めてしまう人がいます。「今迄の努力はどうなる。もったいないと思いませんか。大学生活では一生の友と巡り会える最高のチャンス、そのためにはどうすれば良いのか」、企業人になっても大切なコミュニケーションのコツ等の講義を進めて行くと、真剣に受け止めて下さいました。

大学生活において、勉学に励みながら、友人作りにと大いに楽しんで頂く事を祈って研修を終わりました。

次は、川岸 秀子さんに バトンタッチ！

新年のご挨拶の年賀状。ふと年を重ねると、お出ししたい気持ちはあるけれども、書けなくなってきた、そんな時に相手の方への礼儀はどうしますか。いただいてそのままにしますか。しんどいと思いつつ書きますか。こんなご挨拶をお出しすると、年賀状のやりとりは最後になります。相手の心に届くのではないのでしょうか。

## 年賀状のお付き合いに思うこと

南 節子

年賀状の売り出しも始まり、年賀状を書く機会が近づいて参りました。この季節になると思い出すことがあります。

仕事の上で知り合い、そんなに親しい方ではなかったのですが、年賀状のやりとりが、10年以上続いておりました。ある年の賀状に新年を寿ぐ言葉に続いて次の様な一文が書いてありました。

「今年で古希を迎えます。これまでのご厚誼に感謝申し上げ、今後については賀状のやりとりをご辞退させていただきます。これからもご健勝をお祈り申し上げます」。

というようなことだったと記憶します。確かに見直すこともなく続けてきた賀状であるならば、このような形で終わらせるのもひとつのやり方ではあると考えました。

訃報が続き、なしくずしに賀状のお付き合いが途絶えてしまう方もいらっしゃると思います。毎年の年賀状のやりとりで、昨年お世話になった感謝と今年も宜しくという思いを伝えたり、ご無沙汰している方にはこの年賀状が懐かしい思いに浸ることも出来ます。

今の時期になりますと、来年のご挨拶に心馳せます。



# 花天の会

## 第9回 「青葉の集い」

業務サポート部 島崎 和子

6月7日(日)に、協会認定マナー講師の研鑽と親睦を目的にした「青葉の集い」を開催いたしました。

北鎌倉駅のすぐ側にある円覚寺総門前に7時45分に集合して、坐禅会に参加しました。

その後、鎌倉を自由散策し、昼食を兼ねて食事のマナーを学びました。



### 坐禅体験

鎌倉にある円覚寺にて、坐禅会に参加しました。初心者の私たちは、足の組み方と、吐く息を数えるようにと教わりました。呼吸に意識を集中させると、心が落ち着いてきて鳥の鳴き声や、水の音が大きく聞こえ始めました。毎日の生活に坐禅を行えば、心を穏やかに過ごせるように思いました。般若心経などのお経も皆で読みました。

横田南嶺老師(円覚寺派管長)の法話がありました。話は、お腹で何となく聞くのがいいとのことですが、難しかったです。

### 鎌倉散策

明月院・・・紫陽花の季節でしたので大勢の参拝客がいました。境内は紫陽花の青で美しかったです。清々しい気持ちになりました。

小町通り・・・小さなお店が沢山あり、見ているだけでも楽しかったです。美味しいお菓子を土産に買いました。

### 葉山日影茶屋にて会食

葉山にある歴史あるお店の会席料理を頂きました。季節を感じる美味しい料理を頂きながら話が弾みました。接客も素晴らしく、お客様に喜んでいただけるようにとの心遣いは、マナーにも通じると思いました。上質な時間は大変、勉強になりました。



## 協会認定マナー講師誕生 第11期生の皆様 おめでとうございます



〈合格者〉 原田 なおみ 松井直美 板津 かをり  
鳥山 真美 岡田 愛子 \*敬称略

平成27年5月、新たに5名の「協会認定マナー講師」が誕生いたしました。そこで、認定講師の方々に、認定証授与式後の感想をご寄稿いただきました。皆さまの更なるご活躍をお祈りいたします。そして、これからもご縁がありますようにと願っています。



## 学びの恵み

認定講師 原田 なおみ

「人と人との心の温かさの交換」をコミュニケーションの定義とした私の恩師故・斎藤美津子教授。ある授業で白い紙に墨で幾度となく「宝珠の玉」を書き、「一度として同じものは書けないが訓練によってより迫力のある表現ができるようになる。うまくいかなかったと思うものを含め、それぞれの味がある。」と講義されました。自分の本来持っているもの（玉）を大切にし、その上で努力し、一回一回の経験から学ぶことにより自分は成長する（<sup>ほのお</sup>焔が高くのびていく）。自分を大切にする心は他者を尊重し、理解しようとする気持ちにつながる、との意味が込められていました。学生の私は未熟で視野も狭く（同時通訳の技術向上のための修行?!）との感覚しか持てず、真の理解には至りませんでした。



その後、就職、結婚、子育て、親の介護を経験する30年の年月を重ね、ようやく岩下宣子先生との出会いに恵まれたのです。自分自身が学んできたこと、経験を通して身につ

けたこと、講師養成講座で蓄えた正しい知識を「マナーは愛」の理念に沿って人々に伝える資格を得た喜びを今かみしめています。

慈愛に満ちた岩下先生、温かく見守って下さいました香月副理事長、辛抱強くご指導下さいました先輩方、そして協会に連なる魅力的な方々との出会いにも心から感謝を申しあげます。ありがとうございます。

## 微力ながら頑張ります

認定講師 鳥山 真美

学ぶ事や試験からすっかり離れていた私が、新しいノートを広げ背筋を伸ばし岩下先生の講義をお聴きするのは、ただただ楽しく貴重なひと時でした。先生の素晴らしいお話に心から感動したり、あまりにも私たちが何も答えられないと岩下先生が「あら？もしもし？」とおっしゃって、全員で笑ってしまったり…、気分は女学生でした。



テストの点数は高得点とは参りませんでした。いつもスローで回っている頭をフル回転させ試験勉強も頑張りました。共に学んだ同期は皆、今まで出会った事もないような個性豊で素敵なメンバーで、ずっと大切にしたいと思います。

私はのんびりしているので、まだ何もスタート出来ていませんが構想は頭の中に沢山あります。あとは実行するだけです！（それが難しいのですが）

これから一層努力を重ね岩下先生の「マナーは愛」という教えを微力ながら、一生懸命伝えて参りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

## ご縁に感謝！！

認定講師 岡田 愛子

認定証授与式を迎えられましたことは、岩下先生をはじめ諸先生方のご尽力があってこそこのことと、本当に感謝いたしております。

また、11期生の個性的な皆様との出会いは、岩下先生がご縁をつくっていただいたからであり、私の一生の宝物です。

資格取得後に参加させていただいた、夏のイベント「キッズジャンボリー」では、子どもの“わかった”という喜びの顔、知ろうとする真剣な姿を見られたことは大変貴重で感動いたしました。この感動を忘れずに少しでも「マナーは愛」と伝えていけるように切磋琢磨してまいりたい所存ですので、これからもご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



## 感謝の気持ちにかえて

認定講師 松井 直美

このたびマナー講師の認定を頂きました事、岩下先生、協会の皆様方に、深く感謝申し上げます。

岩下先生との出会いは、私の人生の中で大きな出来事であり大きな喜びです。マナーを深く学べた事、何より「マナーは愛」を知った事で、他人への振る舞いにも寛容になり、感謝を持って人に接するように、私自身が変わっていきました。



11期生のメンバーとの出会いも、素晴らしい宝物となりました。先生と仲間たちと共に学べたあの貴重な時間は、今は愛おしいほど大切な思い出です。

昨今はマナーの質の低下などと言われております。自分に自信が持てない、振る舞い方が分からない。そんな悩みを持つ人も増えているように思います。

そのような中で私が目指す事は、人の心に寄り添い、思いやりの心を伝えていく、「敷居の低いマナー講師」なのだと考えております。

これからも日々精進して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

## 講座で学んだこと

認定講師 板津 かをり

マナー講師養成講座を無事に卒業できましたこと、岩下先生をはじめ協会の方々、同期11期生の方々に改めて感謝申し上げます。

学んだ講義はどれも奥深く、一朝一夕では身につかないことばかりでしたが、講義を通して感じたことは、日本人として、先人たちの知恵に触れ、四季折々の行事に関わり、日本の作法を守り伝えていくことには、感慨深いものがありました。



そして、私にとって何よりの成長は、日常の予期しない出来事や、不快な場面に直面した時、「こんな時、先生ならどうなさるだろう」と、相手に対する行為を、常に考えることができるようになったことです。岩下先生は、どんな時にも隣人に優しく、思いやりに満ちていて、その立居振る舞いは、今でも鮮明に記憶に残っています。共に時間を過ごしましたこと、これからの貴重な財産です。

末筆ながら、マナー教育サポート協会の今後のご発展と皆様のご健康を祈念して挨拶いたします。

## 伝統的工芸品

業務サポート部

日本には、長い年月で培われ、今日まで続いている素晴らしい工芸品が沢山あります。機械により大量生産されるものではなく、職人手作りの品です。全国各地で地場のものを使い、受け継がれてきた品は日常生活に用いられ、生活に豊かさと潤いを与えてきました。

しかし、近年になり存続が難しくなってきた品もあります。それは、職人の減少、後継者不足、日常生活で使われなくなった、高価な物で購入することが難しくなった、などが考えられます。また、核家族化になり、親から子、子から孫へと伝えられていた伝統的なものが受け継がれにくくなっているようです。

衰退していくのは、時代の流れであり、仕方がないことなのかも知れませんが、失われた技術を復活させるのは難しいことです。一つの工芸品を失うということは、先人たちの日本の心を一つ失うように感じます。

次回より、技術とともに昔の人びとの心を私たちに届けているように感じる、伝統的工芸品の「いま」を、職人さんに取材したり調べたりして、日本文化の温もりをお届けしてまいります。

### ○伝産法とは

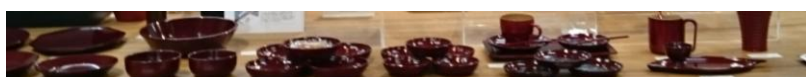
「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」の略称で、昭和49年5月25日に公布されました。（平成4年、平成13年に一部改正）

国（経済産業省）が認めた伝統的工芸品を将来にわたって受け継いでいくために、「産業の振興を図り、国民の生活に豊かさと潤いを与えるとともに地域経済の発展に寄与し、国民経済の健全な発展に資することを目的」として制定された日本の法律です。

### ○経済大臣が指定する、伝統的工芸品とは

「伝産法」に基づいて、次の条件にあった工芸品のものをいいます。

- ・主として日常生活に使われているもの
- ・主要工程が手作りであること
- ・100年以上前から続いている技術・技法で作られたもの
- ・100年以上前から使われている原材料で作られるもの
- ・産地がある程度の規模を保っていること



○経済大臣の指定を受けた伝統的工芸品は  
平成27年6月現在、全国に222品目あります

分野ごと（業種別）の内訳

|         |    |       |    |           |   |
|---------|----|-------|----|-----------|---|
| 織物      | 36 | 仏壇・仏具 | 16 | 人形・こけし    | 8 |
| 木工品・竹工品 | 32 | 金工品   | 15 | 石工品       | 4 |
| 陶磁器     | 31 | 染色品   | 11 | その他繊維品    | 4 |
| 漆器      | 23 | 和紙    | 9  | 工芸材料・工芸用品 | 3 |
| その他工芸品  | 19 | 文具    | 9  | 貴石細工      | 2 |

※そのほかに、地方公共団体においても、地元の伝統的な工芸品産業の振興を図ろうと、都道府県独自の基準による工芸品の指定や伝統工芸士の認定などを行っているところもあります。また、各地方自治体が認定するものなどもあります。

○国が認めた伝統的工芸品の表示には、次のことが必ず明記されています

- ・「経済産業大臣指定伝統的工芸品」の文字
- ・「伝統的工芸品の名称」
- ・「特定製造協同組合等の名称」

また、すべて連番による管理番号が入っていて、生産者まで遡って追及することができるようになっています。



経済産業大臣の指定を受けた伝統的工芸品は、「伝統マーク」の表示が付されています。

この表示があるものは、まちがいなく国が認めた伝統的工芸品といえます。伝統の「伝」の字と、日本の心を示す赤丸とを組み合わせたものです。



産地検査に合格した製品には、伝統マークを使用した「伝統証紙」が貼られます。右側には「経済産業大臣指定伝統的工芸品」という文字が入っています。「伝統証紙」が貼ってある商品は、消費者が安心して購入できるマークであり、職人にとっては「伝統を誇る手作りの証」です。

そのほか、独自の機関で認定した工芸品のマークもあります。



※一例です

## 当協会の Face book を立ち上げました



運営は研修事業部で、管理人は研修事業部長の岸田輝美さんが担当しています。また、当協会のマナー研修を支援して頂いている講師の中で田辺由香里さんに編集者になってもらい、中学校のマナー研修等で活動していただいている講師の様子など、タイムリーに発信しています。

是非ご覧いただき、シェアをよろしくお願いいたします。

ここから更に新しいご縁や、すでにご縁のある方々にも情報を発信していければと公開にしていますので、ログインされなくても閲覧いただけます。

アカウント登録して、「いいね！」をポチッと押していただけると励みになります。どうぞ応援をよろしくお願いいたします。

## 活動報告及び予定

### 活動結果報告（第 13 期上期：2015/4/1 - 2015/9/30）

#### 【講師養成事業部】

- 4月 初級コース（第 13 期生）開講
- 4月 中級コース（第 12 期生）開講
- ※初級、中級ともに、9月に修了しております
- 5月 認定証授与式
- 第 11 期生 5名に「協会認定マナー講師」の認定証が授与されました

【研修事業部】

◆中学校等を対象にした講演

- 4月 愛媛県 JFA アゲミ-今治様
- 5月 東京都 市村自然塾（男子）（女子）様 大田区立矢口中学校様
- 6月 茨城県 土浦市立土浦第六中学校様
- 千葉県 千葉市立天戸中学校様
- 東京都 町田市立鶴川中学校様 新宿区立落合第二中学校様
- 板橋区立上板橋第二中学校様 練馬区立石神井西中学校様
- 江戸川区立小岩第一中学校様 荒川区立第一中学校様
- 荒川区立第三中学校様 足立区立入谷中学校様
- 7月 埼玉県 富士見市立西中学校様
- 東京都 世田谷区立砧南中学校様 文京区立茗台中学校様
- 文京区立第八中学校様 江戸川区立東葛西中学校様
- 足立区立千寿桜堤中学校様 立正大学付属立正中学校様
- 葛飾区立中川中学校様 新宿区立牛込第一中学校様
- 台東区立柏葉中学校様
- 8月 東京都 足立区立第六中学校様 足立区立花畑中学校様
- 静岡県 JFA アゲミ-福島（男子）様
- 9月 埼玉県 鶴ヶ島市立西中学校様
- 千葉県 千葉県立天羽高校様
- 東京都 文京区立第六中学校様 足立区立六月中学校様
- 世田谷区立祖師谷中学校様 文京区立第一中学校様
- 足立区立青井中学校様 江東区立大島中学校様
- 神奈川県 川崎市立中原中学校様
- 静岡県 JFA アゲミ-福島（女子）様
- 愛媛県 JFA アゲミ-今治様

◆大学生を対象にした講演

- 4月 埼玉県 東洋大学 川越キャンパス様

◆大人を対象にした講演

- 4月 和以美株式会社様

◆子ども向けイベント

- 8月12日（水）～14日（金）
- 東京国際フォーラム 丸の内キッズジャンボリー出展
- 「お箸マスターになろう！できるってかっこいい」食事のマナーと正しいお箸使い

- 8月20日（木）
- 玉川高島屋 S・C 玉川テラス主催
- 子どもだから覚えたい「正しいお箸使いと食事のマナー」

※ご報告

- 6月 フェースブック活動開始しました。

- 9月 「平成教育委員会」フジテレビ番組 ～小学生の今どき事情～
- 番組製作企画の協力をして最後の「エンドロール」に当協会の名前も流れました。
- <9/20（日）放送>



ここです

### 【業務サポート部】

- ・ 神社参拝の仕方実態調査
- ・ 伝統的工芸品の紹介
- ・ 会報誌の作成
- ・ ホームページの維持管理

### 【花天の会（認定講師の会）】

6月 青葉の集い（第9回）

第1部 円覚寺

「心の平穏を求めて 坐禅と横田南嶺老師（円覚寺派管長）の法話」

第2部 日影茶屋

「会席料理、食事のマナー」

9月 勉強会

「講師として楽に話せて自信が出てくるしぐさと話し方」

講師 高橋 清美 先生（当協会 認定講師）

## 活動予定（第13期下期：2015/10/1 - 2016/3/31）

### 【講師養成事業部】

10月 プロフェッショナルコース（第12期生）開講

中級コース（第13期生）開講

初級コース（第14期生）開講

### 【研修事業部】

#### ◆中学校等を対象にした講演

- 10月 千葉市立末広中学校様 手市立藤代中学校様 JFA ｱﾝﾃﾞ ﾐ-福島様  
 千葉市立磯辺中学校様 中野区立緑野中学校様 浦安市立高洲中学校様  
 江戸川区立西葛西中学校様 JFA ｱﾝﾃﾞ ﾐ-福島様
- 11月 小平市立小平第十二小学校様 中野区立南中野中学校様  
 江戸川区立篠崎第二中学校様 新宿区立西新宿中学校様  
 江戸川区立深川第三中学校様 荒川区立第四中学校様  
 江戸川区立松江第三中学校様 北区立神谷中学校様  
 千葉市立貝塚中学校様 足立区立六月中学校様  
 練馬区立光が丘第二中学校様 練馬区立中村中学校様  
 新宿区立落合中学校様 東村山市中央公民館様  
 世田谷区立砧南中学校様
- 12月 千葉市立誉田中学校様 東村山市中央公民館様  
 JFA ｱﾝﾃﾞ ﾐ-今治様

\*上記ほか、現在ご検討いただいている学校・企業がございます。  
 ～ 今後も多くの方々のマナーの応援をしてみたいです ～

## ご支援いただいている皆様

- イーハウス・アーキ・コラボレーション様 (<http://www.e-house.gr.jp/>)
- 株式会社NSGコーポレーション様 (<http://nsg-corp.net/>)
- NTTコムウェア株式会社様 (<http://www.nttcom.co.jp/>)
- 株式会社NTTデータ様 (<http://www.nttdata.co.jp/>)
- レストランおまかせ亭様 (<http://www.omakasety.com/>)
- 菊地道子税理士事務所様
- 興南プレス工業株式会社様 (<http://www.tcn-catv.ne.jp/~kounan-press>)
- コメスタ・ドーム株式会社様 (<http://comestadome.jp/>)
- 三晃商事株式会社様 (<http://www.sankoh-group.com/>)
- 株式会社スリーライト様 (<http://www.threelight.co.jp/>)
- 学校法人誠真学園小中台幼稚園様 (<http://www.ans.co.jp/k/konakadai/>)
- 株式会社峠喜重朗商店様 (<http://www.to-ge.co.jp/>)
- 株式会社ナチュラシステムズ様 (<http://www.natura-systems.com/>)
- 播磨機工株式会社様 (<http://www.sankoh-group.com/>)
- 株式会社雄大様 (<http://www.udai.co.jp/>)
- 吉井商事様 (<http://www.yoshiishoji.com/company/>)
- NPO法人りすシステム様 (<http://www.seizenkeiyaku.org/HP/home.html>)

(五十音順)

相津美幸 荒井美智子 有岡啓太 板津かをり 伊藤賢二 伊藤康子 稲垣綾  
 今村光子 岩下宣子 岩下美和子 岩下義弘 薄倉一恵 梅津稔 梅本久美子  
 大竹奈穂子 大畑麻綾 大藪昌代 岡田愛子 岡部達昭 折原みよ子 香月泰  
 加藤恵子 加藤幸子 金子昭信 金子直己 川岸秀子 岸田輝美 木ノ原誠司  
 忍那美江子 熊澤厚子 藏満勝子 畔柳恵美 古関裕美 小松俊一 金野裕子  
 佐々木恵美子 佐藤元昭 澤村晶子 重松照代 島崎和子 島田裕代  
 鈴木敏夫 鈴木初江 鈴木美和 大徳はるみ 高橋清美 尋木浩司 田中昌子  
 田辺由香里 土田美子 都築サチ子 鳥山真美 長塩由美 西高弘  
 西川千津子 野田頭よし子 原田さとみ 原田なおみ 藤野勲 保木本清美  
 星野久子 前田美智子 松井直美 松井憲子 松尾祐子 松土倫子 松本桂樹  
 松本智子 三浦和昌 三浦順一郎 水倉直美 南節子 壬生実佳子 向山邦子  
 向山浩司 向山ひろ子 向山代志子 村上智美 村上直子 森下はるみ  
 湯浅智子 吉村景美 和田香代子 渡邊ひろみ

(五十音順、敬称略)

 Thank you

## 会員募集のご案内

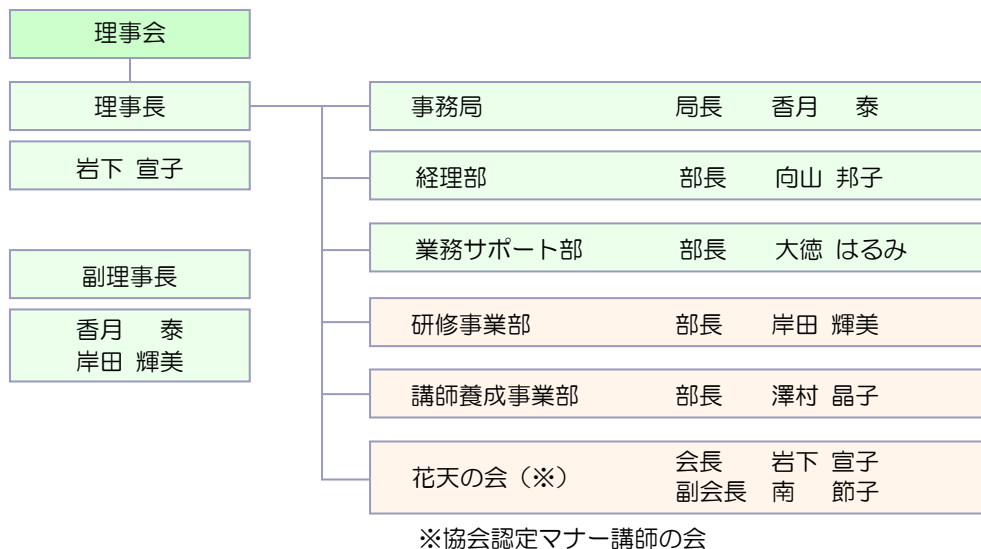
会員は、活動主旨に賛同し、支援して下さる個人または法人の皆様です。

年会費 正会員（個人） 5,000円  
 賛助会員（個人） 2,000円  
 賛助会員（法人） 1口 10,000円 より

私たちの活動にご理解を賜り、ご支援ご協力くださいますようお願いいたします。

## 運営体制

活動を円滑に進めるために次のような運営体制を設けております。



## お問い合わせ

特定非営利活動法人 マナー教育サポート協会

認証番号：15 生都協市特第 1585 号（平成 15 年 11 月 5 日東京都）

所在地：東京都千代田区九段北 1-9-5 朝日九段マンション 1117 号

電話：03-3239-0229

FAX：03-6272-9300

メール：e-manners@eagle.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.e-manners.org

※不在の時もございます。御用の際はご予約をお願いいたします。

メールをお送りいただければ助かります。

2015 年 11 月 28 日発行（年 2 回発行予定）

発行・編集・制作 特定非営利活動法人 マナー教育サポート協会 印刷 株式会社雄大

Copyright© 2015 NPO Manners Support Association. All rights reserved.